CASBEE® 名古屋　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市独自の地球温暖化対策強化マニュアル2016　使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)プレサンス志賀本通一丁目(44-2) 新築工事	階数	地上15F
建設地	名古屋市北区志賀本通一丁目44番2、44番3	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	152 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,648 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2028年8月　予定	評価の実施日	2026年10月29日
敷地面積	465 ㎡	作成者	
建築面積	205 ㎡	確認日	2026年10月29日
延床面積	2,478 ㎡	確認者	

1-2 外観

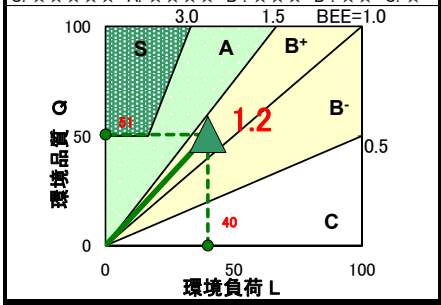
外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

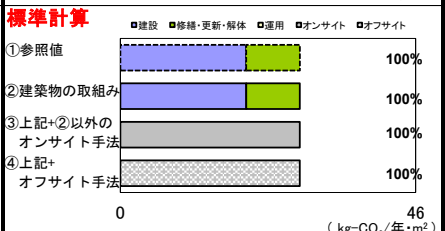
BEE =1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



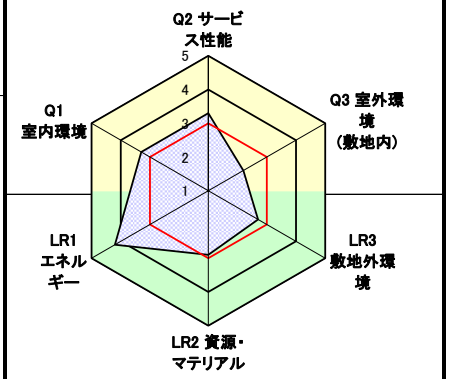
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)





このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

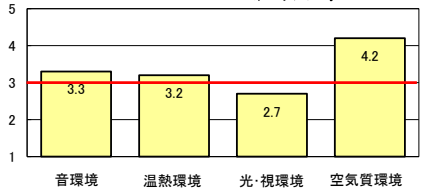
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



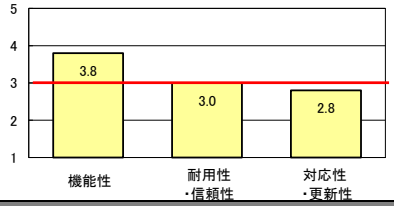
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

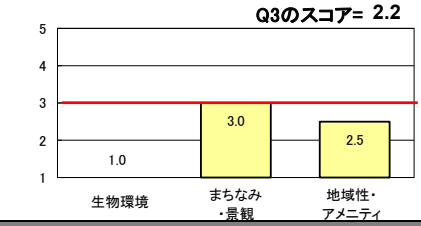
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.3



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.3

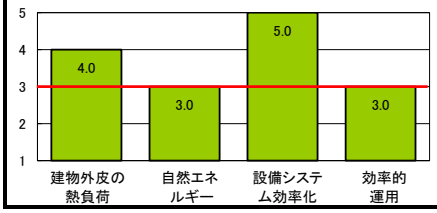


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.2

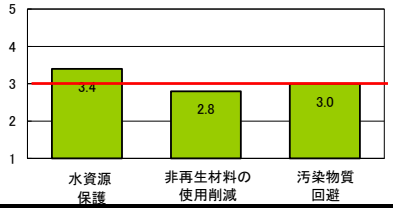


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.4

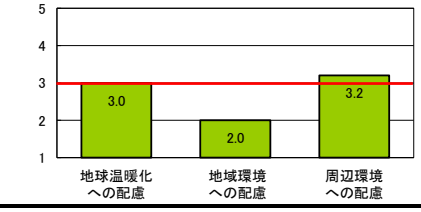
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.2



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.9



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=2.7



3 設計上の配慮事項

総合
十分な断熱性能(等級５以上)を有しており、設備においては節水効率の高い水栓やLED照明を導入することで、省エネ基準を満たしている建物です。

その他
特にありません。

Q1 室内環境
F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避しています。

Q2 サービス性能
給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理しやすい設計となっています。

Q3 室外環境（敷地内）
華美な色を使わないことで、街並みに沿った景観計画としており、可能な限りで緑化をしています。

LR1 エネルギー
高効率設備を導入し、環境負荷への配慮をしています。

LR2 資源・マテリアル
躯体と仕上げ材が容易に分別できる材料を使用しています。

LR3 敷地外環境
広告物照明は設けません。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE名古屋　評価結果

重点項目スコア・結果シート

(仮称)プレサンス志賀本通一丁目(44-2)　新築工事

■使用評価マニュアル：　CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト：　CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目			評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策					3.7
LR1	エネルギー		4.2	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮		3.0	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善		1.0	0.05	
2. 自然共生					1.6
Q3.1	生物環境の保全と創出		1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮				
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.045	
3. 循環型社会					3.0
LR2.1	水資源保護		3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減		2.8	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制　※2		3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策　評価点　＝ 3.7



2. 自然共生　評価点　＝ 1.6



3. 循環型社会　評価点　＝ 3.0



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$重点項目スコア＝\frac{(評価点×全体に対する重み)の総和}{全体に対する重みの総和}$$

※1　ここでは、Q3．3．1の評価する取組みのうち評価項目　I　2）地域性のある材料の使用　又は、Q3．2において評価する取組みのうち評価項目　4）地域性のある素材による良好な景観形成　のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3．3．1の全体に対する重みに0．2を乗じたものとしている。

※2　ここでは、LR3．2．3のうち、LR3．2．3．3　交通負荷抑制　を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3．2．3の評価点とは異なるものである。